

業 種	海運（旅客）
取組分野	教育・訓練
テ ー マ	運航管理部門及びグループ会社の運航管理部門・乗務員による乗船点検
取組の狙い	運航管理部門が乗船し、毎年1回実施する「自主訓練航海」により、現場教育の充実及び安全確保の推進を図る。
具体的内容	<p>A社では、過去の事故を教訓に、経営トップの指示のもと、運航管理部門・現場が一体となって、安全運航の確保を図るために、毎年1回、運航管理部門が乗船し、「自主訓練航海」を行っている。この「自主訓練航海」では、グループ会社の運航管理部門・乗組員も参加し、安全運航の維持、乗客の目線での安全面のチェック、運航・荷役等の点検を実施している。</p> <p>この「自主訓練航海」において、運航管理部門及び他の船舶に乗船する者がチェッカーとなることにより、安全に関する様々な問題点の掘り起こしが行われ、掘り起こされた問題点については、部署毎に改善に向けた対応を行ない、安全性の向上に役立てている。</p> <p>また、運航管理部門が乗船することによって、全社的に安全に対する意識付けを行うことができ、過去の事故を風化させることなく新たに安全運航に向けた取組を進めていくうえで、この「自主訓練航海」が良い機会となっている。</p> <p>安全性を追求するうえで、教育・訓練は必要不可欠なものであるため、訓練の内容については、反省会の場で検討・見直しを行い、より効果的な訓練方法を常に検討している。</p> <p>その他にも、全社員に安全管理規程を配布し、同規程やその他の関係法令について、毎年2回の勉強会を行っている。</p>
取組の効果	運航管理部門及びグループ会社の運航監理部門・乗組員によって点検することで、安全に関する改善点の掘り起こしが行われ、全社的な安全意識の浸透につながっている。
事業者名	匿名